

注 意 報

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成15年度病害虫発生予察注意報第3号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成15年度病害虫発生予察注意報第3号

- 1 対象作物 イチゴ
- 2 病害虫名 ハダニ類
- 3 発生地域 県全域
- 4 発生程度 多い
- 5 注意報発令の根拠
 - (1) 1月2半旬調査の結果、寄生株率は14.6%（平年：1.8%、前年：1.8%）で、発生ほ場率は57.7%（前年：18.5%）であった。
また、1月5半旬調査の結果、寄生株率は11.1%（平年：2.0%、前年1.0%）で、発生ほ場率は59.3%（前年：22.2%）であった。
 - (2) 今後1か月の気象予報では、2月の気温は平年並か高いと予想されている。
 - (3) 平年では2月からハダニの活動が活発となり、発生密度は高くなる。
- 6 防除上注意すべき事項
 - (1) 多発生後の防除は困難となるので、早期発見、早期防除に努める。
 - (2) イチゴ以外の植物にも寄生するので、ほ場周辺作物の薬剤防除や除草を行う。
 - (3) 寄生した株のかぎ取った下葉や除草した雑草は、ほ場周辺に放置せず、速やかにビニル袋等に入れて密閉し処分する。
 - (4) ハダニは薬剤に対する抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤を連用しない。
 - (5) 薬剤防除については、使用基準を守り、危被害防止に努める。

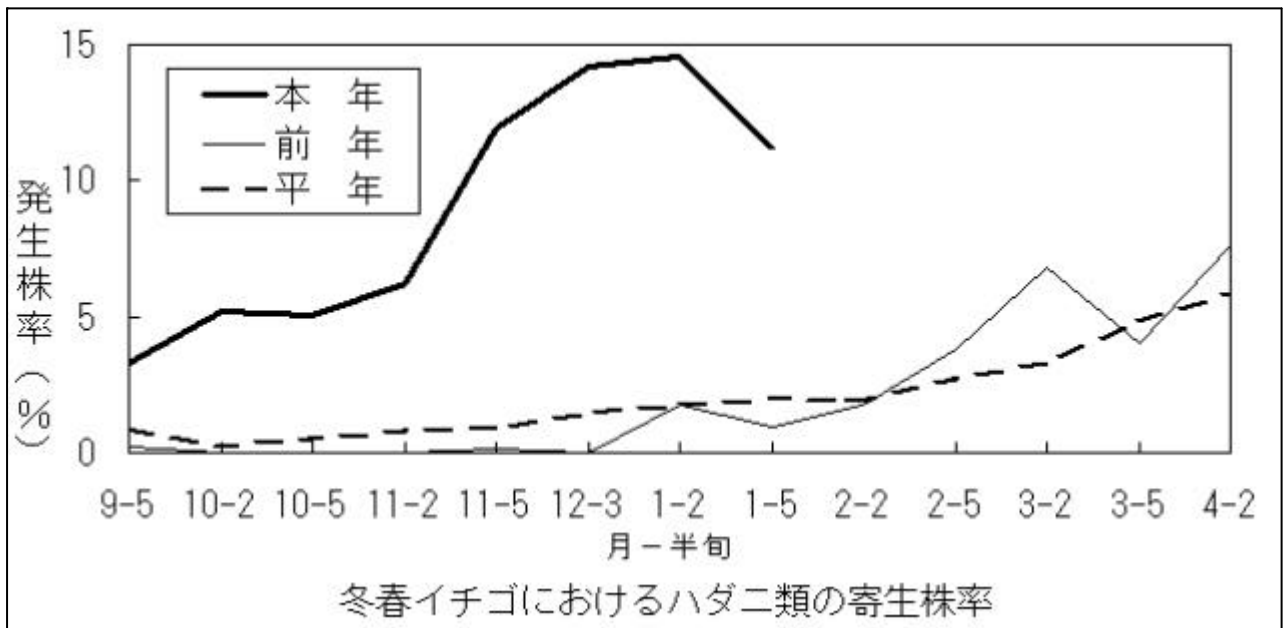


表 イチゴの主要なダニ防除剤の作用特性表

薬剤名	作用機作	毒性		効果の発現		防除効果			備考	
		経口	接触	殺虫	加害停止	成虫	産下卵*	卵ふ化虫		
コロマイト水和剤	神経毒	◎	○	即効		○		△	○	
マイトコーネフロアブル	不明	◎	○	やや遅効(3~4日)	○	○		○	○	チカフリに影響なし
パロックフロアブル	脱皮阻害	◎	○	遅効		×	○	○	○	
ピラニカEW	不明	◎	◎	即効		○		○	○	
ニッソラン水和剤	脱皮阻害	◎	◎	遅効		×	○	○	○	チカフリに影響なし
オサダンフロアブル	呼吸阻害	◎	×	やや遅効(3~4日)	○	○	×	×	○	チカフリに影響なし
粘着くん	窒息	×	○	即効	○	○	×	×	○	薬液乾燥後のチカフリ放飼は影響なし
アカリタッチ	窒息	×	○	即効	○	○	×	×	○	チカフリに影響なし 2000倍で使用

* 散布後に産下された卵がふ化しない。

上記薬剤のミツバチへの影響については、最寄りの農協・普及センター、または病害虫防除所までお問い合わせください。